

青葉輝き、150人が祝う

中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター第2期工事完成



▲手作りのくす玉で完成をお祝い

5月24日(土)、青葉が眩しく輝く晴天の日に開催された「第2期工事完成を祝う集い」には、来賓、地域、聴覚障害者関係団体の皆様と、おのこの家のデイサービス通所の皆様合わせて総勢150名が祝いました。

誰もが排除されない元気な地域へ

集いは、「広いと思っておりますが、中学校ですが、おのこの家、デイサービスセンター桜ヶ丘が開所、外には、野外作業場ふれあい工房桜ヶ丘も出来、隅々まで施設で埋めつくされました。皆様方に利用して頂ける地域の交流の場として、維持、管理をしていきたいと思います」と、ふれあいセンター運営委員長長手弘様からの挨拶からはじまりました。

「喜びを語られました。通所を切望される方の「楽しかった、ありがとう。」を守っていくことが私たちの仕事です。

さらに、森屋副市長のごあいさつではこれからの活動展開として「地域挙げての支援システムづくりこそが、これからの時代に求められる『地域包括ケアシステム』の基本となる。洲本市のモデルとなるような地域づくり、幅広い支援体制づくりへ。」と強い期待が寄せられました。



◀ 昼食には石窯でやいたピザも

山ユニット(ショートステイ)は現在ふくろうの郷へ入居を希望されている利用者様が多く利用されています。これまで外出の機会、特に島外に出る機会が殆どなかったことや、利用者様から「家に居てもほとんど外に出ない、何処にも行かない」という声もあり、「須磨水族園」への外出を企画しました。

島内で昼食後、須磨水族園へ。多くの海の生物を見たり触れたり、特にイルカショーでは、圧巻のイルカ達の演技に「すごい、かっこいい」と驚かれました。

外出する喜びを ～山ユニット外出レクリエーション～



▲イルカとふれあうこともできました

ふくろう新聞

＜発行＞
特別養護老人ホーム 郷会
淡路ふくろう委員会
洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/>
メール
info@hyoufuku.main.jp

6月7日、中川原小学校の運動会に延べ40名の入居者が参加した。行事の開催や参加にあたり、いつも支援をいただく地域交流会の皆様が、新調したそろいの帽子を着用して入居者の移動援助等をしていただいた。午後からの玉入れ競技にも入居者と一緒に参加。運動会参加者から、帽子の「淡路ふくろうの地域交流会」の字を見て、地域の支えが大切ですねえと言われた。法人理念「地域とともに」が着実に根付いている。感謝

(担当:鈴木)

ひょうご聴覚障害者福祉事業協会の2013年度決算報告

動定科目		12年度決算	13年度決算	主な内容
経常活動による収支	収入			
	寄付金収入	29,189,878	11,835,112	
	その他受託金収入	20,800,000	20,800,000	淡路聴覚障害者センター
	助成金	12,808,639	10,258,148	助成金・補助金他
	補助金収入		655,000	おのころの家
	介護保険収入・利用者収入	332,951,689	331,071,899	淡路ふくろうの郷
	自立支援費収入	33,780,000	38,511,760	就労継続支援B型
	事業収入	7,788,110	8,427,958	就労継続支援B型、センター選択収入
	雑収入	9,174,016	7,780,460	職員給食費他
	受取利息配当金収入	267,847	365,167	銀行関係受取利息
経常収入計(1)	446,760,179	429,705,504		
支出				
人件費支出	263,356,282	267,207,993	職員給料・社会保険料・中退共他	
事務費支出	21,387,255	20,901,009		
事業費支出	70,818,859	72,456,568		
借入金利息支出	5,062,500	4,687,500	福祉医療機構利息	
経常支出計(2)	360,624,896	365,253,070		
経常活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	86,135,283	64,452,434		
財務活動による収支	収入			
	施設整備等補助金収入	0	0	
	固定資産受贈額		8,471,299	建物の贈与
	固定資産取得支出	11,354,380	31,671,579	
	施設整備等収支差額(4)	-11,354,380	-31,671,579	
	積立金取崩収入(5)		0	
	施設整備等積立金支出(6)		60,000,000	施設整備等積立
	借入金支出(7)	33,336,000	33,336,000	福祉医療機構・ふるさと融資返済(元金+利息)
	特別損失(8)		17,225,925	
	財務活動収支差額(9) = (5) - (6) - (7)	-33,336,000	-110,561,925	
予備費(10)	0	0		
当期資金収支差額合計(3) + (4) + (8) - (9)	41,444,903	-77,781,070		
前期末支払資金残高	264,383,170	305,828,073		
当期末支払資金残高	305,828,073	228,047,003		
減価償却費(11)	38,772,901	38,772,901	減価償却費 - 国庫補助特別積立金取崩額	
事業活動経常収支差額(決算時)(3) - (11)	47,362,382	25,679,533	経常資金収支差額 - 減価償却費	

法人全体の決算概要

2008年度決算以来の低い収支差額

(1) 収入の部

介護保険収入は、予算比102%、昨年比99%(177万円減)

自立支援費収入は、予算比109%、前年比114%

寄付金収入は、前年比1735万円減

収入合計は、予算比105%、昨年比96%(1721万円減)となりまし

(2) 支出の部

人件費は予算比99%、昨年比101%(380万円増)

事業費は予算比101%、昨年比103%(163万円増)

事務費は予算比96%、昨年比98%(48万円減)

支出合計は、予算比99%、昨年比101%(625万円増)となりまし

(3) 経常収支差

支出では、人件費、事業費が微増しました。これは、2008年度(平成20年度)決算(1560万円)と並んで、開設以来もとても低いレベルの収支差額となりました。

寄付金収入減が、その分収支差額の悪化となつています。

(4) 中川原事業第2期工事について

今年度末終了予定の、中川原事業の第2期工事が、2014年4月初めにずれ込んだため、今期は「建設仮勘定」となり、来期の決算になりました。

その結果、経常収支差は2436万円の黒字(昨年比2299万円減)となりました。

これは困る

介護保険制度の改定で 厚労省に要望

5月25日～27日まで、神戸市内で「全国高齢聴覚障害者施設協議会」の総会・施設長会議・相談員会議が開催されました。総会では、新役員の選出や事業計画の審議などの後、来年四月から実施される介護保険制度の改定について論議されました。その結果、高齢の聴覚障害などが施設から排除されないため、協議会として7月17日を中心に厚生労働省と日程調整して要望懇談会を持つことに決まりました。

新役員は次の通り

会長 酒井 亮介 三 篠 会 理 事 長

副会長 高畑 訓子 新得やすらぎ荘施設長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

監事 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

事務局 萬行 隆晴 あすらや荘施設長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

同 大矢 暹 淡路ふくろうの郷施設長

同 喜代美直一 田 尻 苑 施 設 長

自治会も要望活動

ふくろうの郷の同居者自治会では、6月3日の総会で、「ふくろうの郷から追い出さないで」とする要望を相談しました。併せてスカイツリー体験旅行を兼ねた、国等への要望活動も話し合われました。

要望1

家族・地域と孤立し、必要な教育も受けられず金銭管理や健康管理などに困っている要介護1や要介護2の私たちをふくろうの郷や、全国4カ所の特別養護老人ホームから締め出さないください。

要望2

介護サービス費や食費・部屋代の負担は、非課税で月額約8万1千円の障害福祉年金の範囲で支払えています。負担が限度区分3になると毎月8万4千円にもなり年金では払えません。嗜好品や外出の楽しみもできなくなり、何よりも薬代、通院・入院代など払えません。その分を負担できる家族親戚も少ないです。

要望3

介護認定のあり方を見直してください。手足が動くか、寝たきりでないか、認知症があるかを内容とした調査項目では、聴覚障害者の認定は要支援とか、要介護1など軽くされるばかりです。障害を持つ高齢者への理にかなう配慮をしてください。以上

トライやるウィーク!!

5月26日〜30日間の5日間、安平中学校の女子生徒3名それぞれが『笑顔でお年寄りの方々をサポートしたい』『おじいさんやおばあさんと優しく接したい』『介護の仕方やコミュニケーションのとり方を学びたい』などの抱負を持って、おのこの家と淡路ふくろの郷に職場体験に来られました。特に、ふくろの郷では、3人が別々のユニット担当として仕事に入ってもらった

ので不安なこともあったかと思いますが、自分たちが掲げた目標どおりに入居者さんと積極的に関わり、交流を深め一生懸命に取り組んでいた姿勢が印象的でした。

仕事を経験する中で、楽しいと感じたこと、難しいと感じたこと、疑問に感じたこと、いろいろなあつたと思いが、その思いや経験をこれらの将来に活かしてくれらることを期待しています！

おつかれさまでした！
(生活支援係主任：中西)

2年ぶりに再開！ちぎり絵

2年ぶりにちぎり絵を再開しました。ボランティアの大矢小百合さんのご援助を頂きながら進めています。小百合さんにA4サイズの板に下絵してもらい、その上に絵の色に合った和紙をちぎって貼っています。入居者はちぎり絵の日以外にも、日常生活の作業として自ら作業場に行かれ、ちぎり絵の続きをされています。いつもユニットに籠っている入所者が

「今からちぎり絵に行く！」
「次は何の色を貼るのか？」
と楽しみを見つけたようにウキウキとしながら、参加されるようになりました。想像していたよりも進みが早く、驚きの連続です。そして、次のステップとして2年前に進めていた屏風絵を再開するために下絵の準備をしています。完成した作品を公募展に出品したいと入居者のみなさん頑張っておられます。

(生活支援係：野地)



▶ 皆さんちぎり絵に夢中です



▶ 入居者と絵手紙をつくりました

新任職員の声（1ヶ月を振り返って）

新任職員の川満と秦が、勤務1ヶ月をふり返って会談しました。

川満：総務係、大阪出身、手話経験あり

秦：調理係、淡路島出身、手話経験なし

◎手話について

川満「秦さんは手話未経験のまま入って、苦労はなかったですか？」

秦「調理の仕事で大きな問題はありませんが、デイで利用者と一緒に食事をするときのコミュニケーションが大変ですね。手話奉仕員養成講習会を受けて勉強中です。」

川満「私も読み取りが苦手で、入所者さんに『分からんならいいわ』と言われたときはショックでした。頑張りうと思いましたが(笑)積極的に話をして、上達していこうと思います。」

秦「先輩職員たちが手話を分からない中、どうやってやってきたのか、また話を聞いてみたいですね。」

◎仕事について

川満「仕事面ではどうですか？」

秦「まだ1ヶ月ですが祝う会で朝5時から赤飯150人分を炊いたり大変でしたね。今後、見学の方への食事提供もしていくとなると、調理職員の数も足りるのかなと・・・」

川満「入ったばかりで色々任せられると不安ですよ。」

秦「ふれあいセンターの食事はほとんど任せられているので大変ですが、責任感もあります。事務はどうですか？」

川満「私は、逆にまだ、そこまで任されていないのですが、先輩事務員で夜中まで残業されている方もいて・・・早く仕事を覚えて先輩の負担を軽くしたいですね。」

◎生活について

秦「仕事を始めて1ヶ月が過ぎましたが、生活はどうですか？島外の生活に慣れている方は不便じゃないですか？」

川満「生活に必要なお店はそろっていて困らないのですが、移動には車も必要なので外でお酒が飲めないのは不便ですね(笑)」

秦「そうですね(笑)若者が遊べる場所をもっと増やせたら良いと思います。」 (川満・秦)

**淡路聴覚障害者
センター** 便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

**兵庫県実態調査から見えてきた
難聴者の生きづらさ**

(公財)兵庫県聴覚障害者協会が県域を対象に実施した生活実態調査に参加したセンターは高齢難聴者の方への訪問も重視して、生活のしづらさ、困りごと、家族や地域との関係など時間をかけ、お話を伺いました。

人間関係を作ることには一番大事な人と話すことが苦痛になる

難聴者は手帳の等級が軽くされ、生活の困りごとと比較的軽いと受け取られがちです。実際は聞こえなくなるにつれ、一人前扱いされなくなったり、話がずれ誤解を受けたりの体験をしています。人との付き合いに神経を使う、迷惑を掛けるなどで、だんだん家族や近所付き合いがしんどくなり、地域の会合や冠婚葬祭も苦痛、近所付き合いは家族任せ、通院も家族と同行など依存的になっ

ています。デイサービスに行っても聞こえないことの配慮がなくて行かない等、自ら社会との関係を断つていかざるをえない状況におかれています。

人と向き合うことのない生活。しかし気持ちは・・・

趣味も家でできる小物や花つくり、テレビを見たり、パソコンに向き合っては一日を過ごしたりなど生活の範囲が狭まり、人生の楽しみを諦めざるを得なくなっています。難聴者は聞こえていた過去、社会的に役割が果たせていた過去がある分、障害を自分の性だ、社会に役立たない自分がダメと考えるなど自己否定的に考え、社会的に孤立していく傾向にあります。

「家族や近隣の人はすれ違ひが多く、会話が早い、一人の方がほっとできる」と言いながら調査員に対しては留まるところなく話し続ける方もいます。

気兼ねなく集まれる場所の大切さ

同障者が通所するおのこのの家

**聞こえないことでどんどん狭まる生活
同障者との繋がりを通して生きる楽しみや安心を**

やセンターや難聴者協会の行事に参加することで、聞こえないことへの配慮や、聞こえないことに気を使わず、気兼ねなく話ができる場所、人と一緒に時間を過ごせ、趣味や特技を生かせ、楽しみを共有できる場所、同じ障害をもつ仲間との繋がりがホッとでき、安心できるところが生活にとつてとても大事な場所となっていることも語られました。

調査結果を踏まえて、センターの役割を強める取り組みを

センターと関わることができたお

実態調査を更に深めていく目的で移動相談、家庭訪問を行っています。

谷口緑さんは、子どものころに難聴になりました。昔は偏見の強い時代で、「聞こえにくいことも隠せ」という考えのため、「障害者枠」での採用に挑戦できなかつた残念な思いをもっています。

入社した会社では、電話ができず辞めたり、転職した会社でも微妙な言葉の行き違いで誤解を受け、解雇となるなど、仕事上での苦労や結婚後の子育てでも、泣き声や言っていることが聞き取れず、苦労した

～難聴者が集まれる場を～

移動相談



←社会生活教室に参加の谷口さん夫妻

げで、制度や生活の相談もできた、センターがあるから安心という方も多くおられセンターが生活を守る拠点となっていることも感じられました。

淡路島内の手帳所持者数は600名あまり、センターの利用者は3分の1にも届いていません。

地域にでかけ、新たな利用者を増やすこと、また、様々な悩みや困難を抱えた聴覚障害者を仲間が集う場へ繋げ、仲間と気兼ねなく交流し合う中で、生きる目標や楽しみを見つけ、お互いに育つことを目標に事業を進めていきます。

と振り返ります。

数年前、南あわじ市の難聴者の会にも加入、センターの社会生活教室にも健聴のご主人の協力を得て一緒に参加されています。センターと繋がることにより福祉の制度を利用したり、さまざまな情報を得られ、生活の幅や楽しみが増えたと喜んでくれています。今では難聴者の会の中心メンバーとなり、もつと会員を増やしたい、集える場所を近くに作りたい、難聴者が力を合わせて生活を豊かにしたいと意欲的に活動されています。

おのころの家



〒656-0002
洲本市中川原町中川原 222-2
中川原ふれあいセンター内
TEL・FAX 0799-28-0995

**おのころの家の
工賃状況**

障害者総合支援法による就労に向けた訓練等を受けられる障害福祉サービスとして就労継続支援等が設けられ、一般企業等での就労が困難な方に働く場を提供するとともに、働くために必要な知識及び能力の向上に資する訓練が行われようになり、国は平成24年4月に「工賃向上計画」を推進するための基本的な指針を示すとともに、工賃向上計画支援事業を創設しました。

当所では平成22年10月より(下段表※2)移行した就労継続支援B型事業所が「兵庫県工賃向上計画」の申請を行い、目標工賃の達成に向けて取り組んでいるところです。

おのころの家 工賃実績表(平成19年度～平成25年度)

単位：円

年度	移行先種別	年額売上高	工賃支払総額	延人数	平均工賃月額	兵庫県平均工賃月額
平成19年度	地域活動支援センター	1,354,044	1,187,900	132	8,999	10,799
平成20年度		2,026,080	1,047,119	192	5,454	10,974
平成21年度		2,240,017	1,317,270	204	6,457	11,077
平成22年度	地域活動支援センター※1	1,258,041	852,970	156	5,468	11,477
	就労継続支援B型※2	2,384,831	1,138,600	186	6,122	
平成23年度	就労継続支援B型	3,917,834	2,232,819	343	6,510	11,868
平成24年度		7,393,535	3,490,693	336	10,389	12,754
平成25年度		7,845,036	4,004,315	333	12,025	計算中

※1は平成22年4月～平成22年9月まで。※2は平成22年10月～平成23年3月まで



**デイサービスセンター
桜ヶ丘**

絵画をはじめました

これまで以上に作業を通じて働きたいや社会において必要とされる存在であることを理解してもらえようよう支援したいと思えます。

また、利用者も高齢化してきているため、特別支援学校卒業生や新しい利用者確保が必要と思われまます。そのため個別計画の中で作業の工程や内容を見直して、就労できる環境づくりを目指していただけるよう、又、地域の人と出会う仕事に取り組みたいと考えています。

(おのころの家所長・橋詰)

おのころの屋



〒656-0025
洲本市本町7丁目3-41
営業日時：月～金 9:00～18:00
TEL・FAX 0799-22-6133

**ふれあいセンターにて
好評販売中**

これまでもふれあいセンター内で毎週木曜日にパンを販売してまいりました。当日行われている「いきいき百歳体操」に参加されている皆様から大変好評をいただいております。



5月からのデイサービスセンター桜ヶ丘の開所もあり、ふれあいセンターに来られる一人でも多くの方に、おのころの屋を知っていただきたいと思えます。

中川原町内の皆様、ふれあいセンターへお越しのみなさま、おのころの屋のパンとクッキーをご賞味ください。

去る5月1日、お祝いにかけつけて下さった民生協会員で画家でもある前川勉さんが、月1回デイサービスの利用者の方々と一緒に絵を描く時間を作ってくださいることになりました。

初回、5月16日は、利用者の方が持って来られた芍薬の花やソラマメ、カーネーションなどを写生、色付けし、最後におひとりおひとりの作品の講評していただきました。

聞こえないかたもおられるので、前に作品を貼り、講

評のことは筆談してくださいました。

「小学校卒業以来、絵なんて描いたことがなかった、70年ぶりや」と笑いながら、真剣に描かれている方もいらっしゃいました。

桜ヶ丘作品展や、洲本市の展覧会への応募もめざせるように、毎月、楽しい時間をすごしたいと思えます。

(デイサービス：竹内)



ふくろうバーベキュー(BBQ)

7月5日(土)

今年の目玉は・・・

☆今年ワールドカップ開催国のブラジル名物
シュラスコがあるよ!

・参加費

大人 ￥10000

小学生 ￥5000

小学生以下 無料

※アルコールは有料

皆さんお誘い合わせの上お越しください。

(伊達・山西)



シュラスコ…ブラジルのバーベキュー

※写真はイメージです



7月ボランティア募集

右記の通り毎年恒例のバーベキュー大会が今年も行われます。
会場の準備や焼き担当のボランティアを募集しています。

入居者と一緒に楽しみませんか!?

17日 手芸

20日 そうめん流し

24日 料理講座

27日 喫茶

上記のボランティアも募集しています。

TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

淡路ふくろうの郷

担当:竹原まで

いつもご支援ありがとうございます

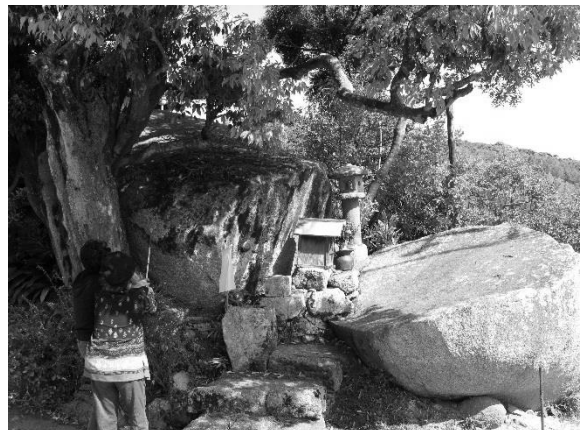
淡路ふくろうの郷に入居されておりました辛島シツカ様の甥子様より、介護用ベッドを寄贈していただきました。

早速、大切に使用させていただいています。



地域を歩く〜二ツ石 大照寺〜

5月8日、二ツ石の大照寺にお邪魔しました。地域の方と一緒にお経をあげ、ご住職にお話を伺いながら、大照寺や二ツ石の地名の由来を表す襖絵を見学しました。二ツ石の地名は、昔、父親と離れ離れになった子どもが、父親を呼び岩の上で地団太を踏んだところ、その岩が真っ二つに割れたところからきているそうです。帰りに、実際に地名の由来となった二ツ石の割れ石も見ることができ、みなさん中川原の歴史に親しむことができたようです。(齋藤・川満)



作品紹介

5月16日

手芸講座



「ふくろう人形作りました」

大北廣枝様(79歳)

10月のふくろう祭りで販売予定なので、ぜひ買って下さいね〜